

陳 情 書 等

件 名

要人警備対象者（安倍元総理）暗殺事件の暴力非難
決議及び暴挙未然防止決議の陳情について

要人言備対象者(安倍元総理)暗殺事件の暴力非難決議及び暴挙未然防止決議の陳情について

1. 陳情の趣旨

安倍元総理暗殺事件は令和4年(2022)7月8日(金)午前11時30分ごろ参議院議員選挙応援のため近鉄大和西大寺駅前で街頭宣伝活動中の最中、景漢(41歳男性)に銃撃され同日午後5時03分死亡した暗殺事件である。

この暗殺事件は日本は世界で最も治安の安全が安心できる国であるとの評価を受けてきたが、白昼市民聴衆の目前で実行され、日本、世界を震撼させ、日本は安心安全な国でないと信頼を損なわせた。日本国として又日本人の心として最大の恥部をさらけ出した。

このような暗殺事件は模倣行為が強く世界はもちろんのこと、日本でも戦前・戦後と

通じても多く発生している。今後も第2、第3、第4、第5と油断すると事件の発生が十分あり得る。しかも連鎖的に発生する可能性もある。

安倍元総理の国葬が9月27日(火)決定し、世界から要人が多数参列することになる。

来年5月広島県で先逝国首脳会議が開催される。世界から重要は指導者、要人が参加する。私達全国令和党(全国令和)は、暗殺事件は民主主義の石皮壊であり言論の封圧表現の自由の石皮壊であり、当事者が誹りであるとも許さぬ。日本社会はこの暴挙を決して容認してはならぬ。期日は我が耳か目矢のれぬ。宇治市議会は要人警備の重要性と不安を感じる市民の不安を和らげるため市民のリーダーとして、市民(住民)の生命、身体、財産を守り、安心安全な街づくりをまい進していかなくてはと訴えます。

全国に先がけて、この陳情を十分理解していただき、議会で討議され、暴挙に警鐘

を囁らし、事件の未然防止と行動をもて実現
せむことと心から切望します。

各議員の皆様には、日頃から辛治市民のため
に議員活動、議会活動を通じて政策
の実現に努力されていることに深く敬意を
表します。おわりに、

国民のひとりとして、市民のひとりとして当事者
が誰であろうと決して許してはならぬ暴挙で安
倍元総理が突然銃撃され急逝された
ことに心から哀悼の意を捧げます。

「暴力非難決議、暴挙未然防止決議」を全
会一致で討議されることを陳情します。

2. 陳情項目

(1) 全国の各自治体に先がけて要人警備警護の
「暴力非難決議、暴挙未然防止決議」の討議
採択。

(2) 不安を感じる市民(在民)の生命、身体、財産と守り
精神的、心理的負担(不安)を除去し、安全
安心な街づくりを市民(在民)のリターナーである
辛治市議会に求める宣言の討議、採択。

令和4年(2022)8月4日

宇治市議会 議長

堀 明人様

陳情者

事務所(所在地住所)本部

氏名

山口 勝巳

政治団体

全国令和党(全国令和)

地位

代表兼幹事長